

報道発表資料の配付日時 1月12日(金)10時00分

発表項目 (行事名)	北海道半導体・デジタル関連産業振興ビジョン素案に対するパブリックコメントの実施について		
記者レクチャー のお知らせ	(実施日時)	発表者	
		発表場所	
概要	<p>北海道半導体・デジタル関連産業振興ビジョン素案について、道民の皆様からのご意見を募集するパブリックコメントを実施いたします。</p> <p>1 募集期間 令和6年(2024年)1月12日(金)～令和6年(2024年)2月13日(火)</p> <p>2 計画等の案及び参考資料の入手方法 (1) 北海道のホームページ(経済部産業振興局次世代半導体戦略室)に掲載 <a href="https://www.pref.hokkaido.lg.jp/kz/jhs/175362.html">https://www.pref.hokkaido.lg.jp/kz/jhs/175362.html</a> (2) 以下の場所での閲覧及び配布 ア 北海道経済部産業振興局次世代半導体戦略室(道庁本庁舎9F) イ 北海道総務部行政局文書課行政情報センター(道庁別館3F) ウ 各総合振興局及び各振興局(石狩振興局を除く)の行政情報コーナー</p> <p>3 意見の提出方法 郵送、ファクシミリ、電子メール等にて、北海道経済部次世代半導体戦略室宛て送付してください。 ※詳細は、別添「道民意見提出手続の募集要領」をご参照ください。</p>		
参考	<p>配付資料</p> <p>1 道民意見提出手続の意見募集要領 2 北海道半導体・デジタル関連産業振興ビジョン素案 概要版 3 北海道半導体・デジタル関連産業振興ビジョン素案の概要(やさしい版)</p>		

報道(取材)に当たってのお願い			
他のクラブとの関係	同時配付	(場所)	
	同時レク		

担当 (連絡先)	<p>経済部産業振興局次世代半導体戦略室(担当者:主幹 菱沼)</p> <p>TEL ダイヤルイン 011-206-9088</p>		
-------------	--------------------------------------------------------------------	--	--

道 民 意 見 提 出 手 続 の 意 見 募 集 要 領

令和6年(2024年)1月12日

- 1 計画等の案の名称  
北海道半導体・デジタル関連産業振興ビジョン素案
- 2 参考資料の名称  
北海道半導体・デジタル関連産業振興ビジョン素案 概要版  
北海道半導体・デジタル関連産業振興ビジョン素案の概要(やさしい版)※子ども向け
- 3 計画等の案及び参考資料の入手方法
  - (1) 北海道のホームページ(経済部産業振興局次世代半導体戦略室)に掲載  
(<https://www.pref.hokkaido.lg.jp/kz/jhs/175362.html>)  
※子ども向けは保健福祉部子ども政策局子ども政策企画課ホームページに掲載  
(<https://www.pref.hokkaido.lg.jp/hf/kms/kodomoikenkeikaku.html>)
  - (2) 以下の場所での閲覧及び配布
    - ア 北海道経済部産業振興局次世代半導体戦略室(道庁本庁舎9F)
    - イ 北海道総務部行政局文書課行政情報センター(道庁別館3F)
    - ウ 各総合振興局及び各振興局(石狩振興局を除く)の行政情報コーナー
- 4 意見等の募集期間  
令和6年(2024年)1月12日(金)～令和6年(2024年)2月13日(火)
- 5 意見等の提出方法及び提出先
  - (1) 郵便 〒060-8588 札幌市中央区北3条西6丁目  
北海道経済部産業振興局次世代半導体戦略室
  - (2) ファクシミリ 011-232-1105
  - (3) 電子メール keizai.sangyousinkou1@pref.hokkaido.lg.jp  
※件名を「【パブリックコメント】」にしてお送りください。
  - (4) 電子申請サービス(子ども向け) <https://www.harp.lg.jp/7waLzng8>
- 6 意見募集結果の公表時期  
提出されたご意見については、ご意見に対する考え方とともに令和6年(2024年)2月下旬頃を目処に「道民意見提出手続の意見募集結果」を公表します。  
なお、意見募集の結果の公表は「3 計画等の案及び参考資料の入手方法」に記載の方法に準じて行います。
- 7 その他
  - (1) 意見の提出に当たっては、日本語でお願いします。
  - (2) 意見の提出に当たっては、住所、氏名(団体の名称)を記載してください。  
なお、意見の要旨と併せて、意見を提出された方の住所(市町村名のみ)を公表することがあります。
  - (3) 意見の提出に当たっては、意見募集用の用紙を使用してください。
  - (4) 意見が長文の場合や、大部の資料を添付する場合は、併せてその要旨を提出してください。
  - (5) 電子メールによる意見の提出は、意見募集用の用紙を添付ファイルとして提出してください。
  - (6) 意見受付後、約3日(土曜・日曜日、休日を除く)以内に受け付けた旨をご連絡いたしますので、連絡がない場合は、電話・ファクシミリ・郵便等でお問い合わせ願います。  
なお、連絡は、電子メールの送信・電話・ファクシミリ・郵送等により行います。
  - (7) プライバシーを侵害する意見、誹謗中傷などの差別を助長する意見、個人情報に記載された意見は公表しない場合があります。

問い合わせ先

経済部産業振興局次世代半導体戦略室

電話：011-206-9088

# 「北海道半導体・デジタル関連産業振興ビジョン」素案【概要版】

## 第1章 策定の趣旨

- 半導体の製造、研究、人材育成等が一体となった複合拠点を実現するとともに、食や観光、再生可能エネルギーなど本道の強みである産業振興と合わせて、本道経済全体の成長に結びつけていくため、オール北海道で目指すべき指針となる「北海道半導体・デジタル関連産業振興ビジョン」を策定

【計画期間】 2024年度から2033年度の10年間 ※当初5年間の重点期間とし、情勢変化を踏まえて適宜見直し

## 第2章 次世代半導体の意義

### 1 社会経済情勢の変化

- 2019年末から始まった新型コロナウイルス感染症の拡大、2022年2月のロシアによるウクライナ侵略など、世界情勢は大きく変化
- 国は、「半導体・デジタル産業戦略」を改定するなど、半導体関連産業の復活に向けた各種の取組を推進

### 2 次世代半導体の意義

- 次世代半導体は、様々なイノベーションをもたらし、我が国の半導体産業の再興・発展やデジタル化、経済安全保障の鍵となる中核技術
- 国は、「次世代半導体プロジェクト」として、次世代半導体の設計・製造基盤確立に向けた取組を公表

### 3 次世代半導体プロジェクト

- ラピダス社は、2023年2月に次世代半導体の製造工場の立地を千歳市に決定
- 2025年のパイロットライン稼働、2027年の量産開始に向けてプロジェクトを推進



## 第3章 本道の現状

### 1 半導体関連産業に関する本道の現状

- 千歳市周辺や道南地域等に、半導体製造企業や半導体製造装置の部品・素材等を製造する企業が52件立地（2023年12月現在）
- 理工系の13大学及び4高専の卒業生のうち、約6割が道外で就職
- 北海道大学は、2023年10月に学内における半導体関連研究・人材育成の推進を図るため、「半導体拠点形成推進本部」を設置
- 旭川高専と釧路高専は、2023年10月以降、半導体の科目を順次開講

### 2 デジタル関連産業に関する本道の現状

- 道内には44カ所のデータセンターが立地（2023年12月現在）、最近では、再エネを活用するデータセンターや生成AI開発など高度処理計算用のデータセンターが立地
- 道は、2023年7月、「デジタル関連産業の集積に向けた推進方向」を取りまとめ

## 1 実現に向けた全体像

- ラピダス社の立地を契機として、半導体の製造、研究、人材育成等が一体となった複合拠点を実現し、すべての産業へのDX展開を進める「北海道デジタルパーク」(P)を展開する中で、その効果を道央圏のみならず全道に波及させる

## 2 ラピダス社のプロジェクトの成功

- 道がめざす姿の実現に向けては、まずは、ラピダス社が進めている次世代半導体製造拠点の整備事業を成功させることが何よりも重要
- 2025年のパイロットライン稼働、2027年の量産化に向けて、国・道・千歳市など各主体がそれぞれの役割を十分に発揮し、必要な支援を実施



## 3 複合拠点の実現

- 次世代半導体の製造拠点の整備に向けて、必要な支援に迅速に取り組むとともに、道央圏での製造・研究・人材育成等が一体となった複合拠点を実現させて、道内各地の地域拠点とつながる半導体エコシステムを構築し、国内はもとより海外とのネットワークの強化を図る

半導体関連産業の集積が低い

【方針1】 半導体関連産業の集積

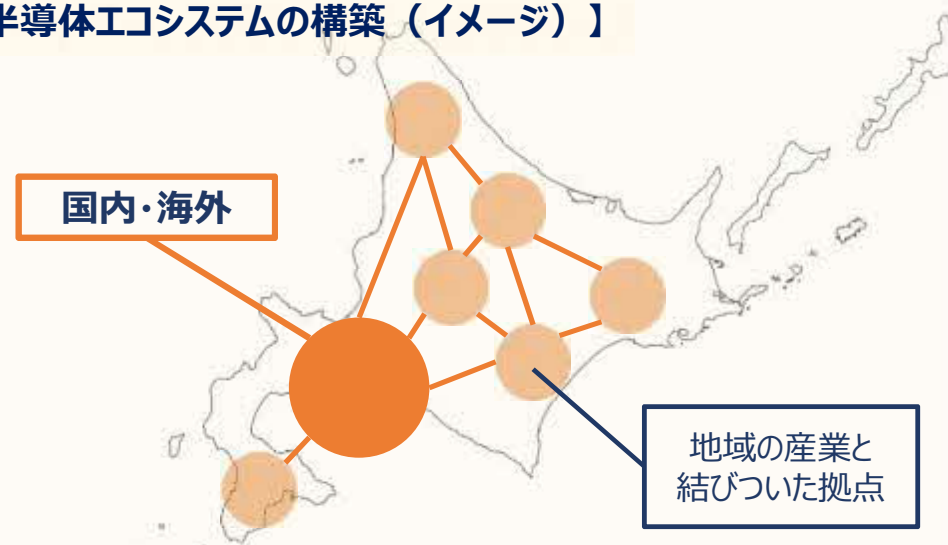
産学官連携の取組不足

【方針2】 イノベーションの創出

半導体人材の不足

【方針3】 人材の安定供給

## 【半導体エコシステムの構築 (イメージ)】



## 4 北海道デジタルパーク（P）の展開

- ・ ラピダス社が千歳市において製造拠点の整備を進める次世代半導体をトリガーに、道内のデジタルインフラを成長基盤として、半導体やデジタル関連産業の集積を加速し、すべての産業へのDX展開を進める「北海道デジタルパーク」(P) を全道に展開

## 5 全道への効果の波及

- ・ 半導体産業をはじめとするデジタルインフラを成長基盤として、本道に優位性のある農林水産業や観光業などのスマート化を図るとともに、ラピダス社の立地を契機とした投資や雇用、関係人口の拡大などの効果を積極的に取り込み、地域の魅力をさらに伸ばす原動力にし、本道全体の経済活性化を図る

一極集中への懸念

▶ **【方針4】 地域経済の活性化**

- ① デジタルの好循環の全道展開
- ② 地域の付加価値の向上



**今後の検討事項：**ラピダス社の進出に伴う半導体関連企業等の立地や、デジタルインフラを活用するデジタル関連産業の道内への展開の動向などを注視しながら、受入のために必要となり得るインフラ整備等に関する課題について、関係機関と連携して検討

## 第5章 計画の推進管理

- ### 1 進捗管理と推進体制
- ・ 本ビジョンの進捗管理は、北海道次世代半導体産業立地推進本部で実施
  - ・ 本ビジョンの推進に当たっては、行政や（一社）北海道新産業創造機構(ANIC)をはじめとする経済団体、企業、教育機関、支援機関等と緊密に連携
  - ・ めざす姿の実現に向けた進捗状況を定期的に把握し、公表

### 2 目標値

	指 標	目標値
方針 1	① 半導体企業の出荷額	調整中
	② 半導体関連企業の数（累計）	
方針 2	③ 大学や高専における半導体に関する産学連携数（累計）	
	④ 半導体に関するスタートアップの創出・集積数（累計）	
方針 3	⑤ 半導体関連企業の雇用者数	
	⑥ 道内理工系大学・高専の道内の就職率	
方針 4	⑦ 道内総生産（名目）	

# 「北海道半導体・デジタル関連産業振興ビジョン」素案の概要（やさしい版）

## 1 計画の名前

北海道半導体・デジタル関連産業振興ビジョン

## 2 計画の目的

ゲームやスマートフォンなど、私たちの生活には「半導体」という電気を流したり止めたりすることができる電子部品がたくさん使われています。この「半導体」が進化すると、今までの製品よりも高性能化・省電力化が進むことで、環境に配慮しながら、自動運転の車や人間のように学ぶことができるコンピュータが使えるようになるなど、私たちの暮らしがとても便利になります。北海道でも進化した「半導体」をたくさん作れるようにするため、北海道全体が一緒になって目指していく目標をまとめたものです。

## 3 計画の期間

令和6年4月～令和16年3月（10年間）の計画を新しく作ります。

## 4 計画の内容

この計画は、進化した「半導体」を作るため、千歳市にとっても大きな半導体工場が建てられていることをきっかけとして、北海道内でも「半導体」をたくさん作り、上手に使うことで暮らしが便利になることを目指しています。

項目	方針の内容
①「半導体」を作る	・「半導体」をたくさん作るために、北海道の外から工場を呼んできたり、北海道内の工場が新しく参加したりできるようにします。
②「半導体」を研究する	・「半導体」を作ったり、北海道内の色々な企業が使ったりすることができるようにたくさん研究します。

<p>③半導体工場で働く</p>	<p>・工場で働く人が増えるように知識を学ぶ機会を増やしたり、北海道の外から人を呼んできたりします。</p>
<p>④「半導体」を上手に使う</p>	<p>・「半導体」を北海道の中で上手に使うことで、農業や観光など北海道の強みをいかした産業がますます発展できるようにします。</p> <p>・千歳市に建設中のとても大きな半導体工場の効果を全道に広げます。</p>

## 5 計画のポイント

この計画では、特に次のことにしっかり取り組んでいきます。

項目	方針の内容
<p>①千歳市に建設中のとても大きな半導体工場の成功</p>	<p>・千歳市に建設中のとても大きな半導体工場が成功するように千歳市や国と協力します。</p>
<p>②関係者の協力を強化</p>	<p>・「半導体」がたくさん作られるように、工場や研究所、学校などが協力を強化します。</p>
<p>③「半導体」を上手に使う</p>	<p>・「半導体」を上手に使うことで、産業や暮らしを豊かにします。</p>

## 6 意見の出し方

スマートフォンやパソコンなどで、かんたんに手続きができます。

URL: <https://www.pref.hokkaido.lg.jp/hf/kms/kodomoikenkeikaku.html>

